

令和 8 年 第 4 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

	村 上 久 美 議 員 (公 明 党)	質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式
9 月 4 日	1 オストメイトの日常生活用具給付基準について (1) この 2 年間、市として具体的にどのような研究・調査を行ってきたのでしょうか。 また、ストーマ装具の価格について、現在どの程度の上昇が続いていると認識しているか、お示してください (2) 現在のストーマ装具の価格上昇を踏まえ、尾道市として、現行の給付基準額が現在の実勢価格に見合った水準であると認識しているのでしょうか (3) ストーマ備蓄があることをどのように知らせていますか。 外出先のトイレの不安もあがっています。このアンケート結果を市はどのように受け止めていますか (4) また、ストーマ装具の交換回数を減らしている利用者がいるという実態について、市として把握・検証する考えはありますか (5) ストーマ装具のメーカー価格や物価指数、実際の購入価格などを定期的に調査し、一定の基準を超えて価格が上昇した場合には、給付基準額の見直しを検討するなど、定期的な見直しの仕組みを設けてはどうでしょうか (6) 現在の物価及びストーマ装具の価格上昇を踏まえ、尾道市として、蓄便袋・蓄尿袋の給付 基準額を引き上げる考えはありますか。 引き上げる考えがあるのであれば、いつから、どの程度の引き上げを行うのか、具体的にお答えください。 また、現時点で引き上げが難しいのであれば、その理由と、どのような条件が整えば引き上げを実施するのか、具体的にお示ください 2 災害時の人的受援体制の強化について (1) 本市は人的応援の受入れに関する受援計画を策定していますか。策定期間、直近の見直し、計画の対象業務を伺います (2) 避難所運営、住家被害認定、罹災証明書交付、被災者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に算定しているのか伺います (3) 人的応援を要請する判断基準、責任者、県や協定自治体への要請ルートは明確になっているのでしょうか	

9 月 4 日	(4) 応援職員の受入れを統括する体制、執務場所、通信環境、宿泊場所、各部局への配置と指揮命令の方法は整備されていますか。お伺いします (5) 受援計画に基づく全庁的な訓練を行い、その結果を踏まえて計画を見直す考えはありますか (6) この度の熊本地震の際、尾道市から応援に行かれた職員の方で、本市の受援体制を見直した方がいいと感じたことなど、気づきがありましたでしょうか 3 防災について (1) 避難行動率向上について ア 市は避難行動率の向上についてどのような課題認識を持ち、今後どのような取り組みを進める考えでしょうか (2) 新しい防災気象情報の周知について ア 市民が新たな防災気象情報を正しく理解し、適切な避難行動につなげるため、市はどのような周知啓発を行う考えでしょうか イ 避難所開設の連絡方法は、どのようになっているのでしょうか (3) 女性防災リーダー育成について ア 現在、尾道市における女性防災リーダー育成の状況と、地域を越えたネットワークづくりについてどのように取り組まれているのかお伺いいたします イ 育成した人材が地域で継続的に活動できる仕組みが必要です。 自主防災組織への女性登用促進や、市独自の女性防災リーダー登録制度創設について見解をお伺い致します (4) 子ども主体の防災教育について ア 尾道市として、学校や地域での子ども参加型防災教育についてどのように進めていかれるのかお聞かせください
---	---